

# 貨物船の荷積み

## 作業中2人死亡

2016.10.30  
神戸港 1人重傷

30日午前11時半ごろ、神戸市中央区小野浜町の新港東埠頭で、約17トンの鉄製パイプの束を貨物船に積み込む作業をしていた男性作業員3人がパイプと船内の壁の間にはさまれた。神戸海上保安部によると、神戸市北区の宮ノ原秀秋さん(57)と同市長田区の元田直輝さん(19)が死亡。同市西区の森公見さん(32)も尻の骨を折る重傷を負った。

同保安部によると、作業員は貨物船に横付けしたはしけからクレーンを使い、直径20センチ、長さ約11・5メートルの鉄製パイプ9本を集めた束、4束分を船内の倉庫に積み込む作業をしていた。宙づり状態のパイプの束が船内の壁側に振れ、作業員らにぶつかったとみられる。